

Submission Guideline for the *Journal of Rehabilitation Neurosciences* (日本語版)

Ver. 20181228

雑誌の概要

Journal of Rehabilitation Neurosciences (*J Rehabil Neurosci*, *JRN*)は脳機能とリハビリテーション研究会の Official Journal です。本誌の名称は第 18 巻までは脳科学とリハビリテーション(英語名:*JRN*)でしたが、第 19 巻からは英語名のみとなりました。*JRN* は脳機能とリハビリテーションに関わる臨床・基礎の研究成果を掲載する査読付き学術雑誌であり、中枢神経系の障害とリハビリテーション、および、それらに関連した神経科学、神経生理学、医工学、社会科学などに関する論文を広く受け付けています。ただし、未公刊論文で他紙に掲載予定のないものに限り、英語で記述された論文の投稿を推奨していますが、日本語の論文も引き続き受け付けています。

投稿資格と掲載費用

- 投稿者の研究会・会員資格の有無を問いません。また原則として投稿、審査、掲載の費用はかかりません。ただし、カラー原稿がある場合は著者の負担とします(カラー原稿は 1 ページにつき 10,000 円)。

著作権

- 本誌掲載後の全ての論文と資料の著作権は「脳機能とリハビリテーション研究会」に帰属しますが、著者の研究活動を阻害する意図はありません。必要に応じて利用していただけるよう手配いたしますのでご連絡ください。

論文の種類

- *JRN* が受け付ける論文は下記の 7 種類です。
- 本文が日本語の場合は、論文の種類の後ろに **in Japanese** が付きます(例:**Original Article in Japanese**)。

ARTICLE

1) Original Article / Original Article in Japanese

著者の研究成果を記述した原著論文です。明確な研究意図、目的、方法、結果、および結果を踏まえた考察と結論を、論理的、客観的に論説した研究報告です。基礎研究に限らず臨床研究も含みます。

2) Review Article / Review Article in Japanese

リハビリテーションに関わる主題に関し、これまでの経緯や現状、最新知見や問題点、将来展望について、学術論文を網羅して客観的に論説した総説論文です。主に依頼原稿ですが一般投稿も受け付けます。一般投稿の場合は投稿前に *JRN* 編集委員会 (editor@noukinou.main.jp) にご相談ください。

REPORT

3) Brief Report / Brief Report in Japanese

早期公表のため簡明に記述した短報です。シンプルな研究デザインや少数例での予備的研究も含まれますが、Original Article と同様に明確な目的、方法、結果、考察、結論を記述します。

4) Case Report / Case Report in Japanese

一人または少数の患者における特定の事例を記述する症例報告です。必定的な情報を過不足なく示し、これまでの知見との関係を論理的に記述します。

NOTE

5) Research Note / Research Note in Japanese

これまでに報告された知見、介入方法、解析法、新しい技術などについて、試行した結果を報告したり、紹介したりする論文です。追試研究も含みます。Original Article や Brief Report ほどの新規性は求められませんが、明確な目的、方法、結果、考察、結論を記述します。

6) Clinical Note / Clinical Note in Japanese

Case Report のように精密には検討していない臨床上の経験を、臨床所見の蓄積を目的として記述したものです。「A を損傷した患者が B という症状を呈した」、「C を損傷した患者に D というアプローチを行った結果 E になった」といった経験を記述します。

7) Tutorial Note / Tutorial Note in Japanese

教育的な観点から、ある主題や手法・技術について具体的に説明する解説論文です。原則として編集委員会からの依頼原稿となります。

文字数, 図表数, 引用文献数の上限

- 本文(抄録, 引用文献, 図の説明文を除く)の文字, 図表の合計, 引用文献数の上限は下記に従ってください.
- Review Article と Tutorial Note については文字数, 図表数, 引用文献数の制限を設けておりません.

Original Article	本文 12,000 文字(英語 4,800 words), 図表合計 8 個, 引用文献 40 編.
Brief Report / Case Report	本文 9,000 文字(英語 3,600 words), 図表合計 6 個, 引用文献 30 編.
Research Note / Clinical Note	本文 6,000 文字(英語 2,400 words), 図表合計 4 個, 引用文献 20 編.

※この文字数には論文表題, 著者・所属名, 要旨, 図表の説明文, 引用文献の文字数は含まれません.

原稿ファイルの基本形式

- Microsoft Word で作成された原稿での投稿をお願いします.
- 原則として本誌指定の様式(フォーマット)を用いてください.
脳機能とリハビリテーション研究会ホームページ <http://noukinou.main.jp/journal/> よりダウンロード可能
- Microsoft Word の原稿を下記のように設定してください.
 - 原稿サイズ: A4 版, 縦向き.
 - 余白: 上下 30 mm, 左右 20 mm.
 - ヘッダ: 中央揃えで「Journal of Rehabilitation Neurosciences」と記載.
 - フッタ: 右揃えで「頁番号 / 全頁数」を記載.
 - 行番号: 左余白部に行番号を記載(頁ごとではなく通し番号).
- 行間や文字フォントを下記のように設定してください.
 - 文章の行間: 1 行(ダブルスペース不要).
 - インデント: 段落の初めは, 英語論文では半角英数 5 文字分, 日本語論文では全角 1 文字分の字下げ.
 - 文字サイズ: 本文および図の説明では 12 ポイント, 表の文字サイズは印刷時を想定して任意に設定可.
 - 文字色: 黒色. ただし, 修正稿における修正箇所は青字や赤字とする.
 - 本文フォント: 本文の全角文字(日本語)は MS 明朝などの明朝体. 半角英数文字は Times New Roman.
 - 図表フォント: 図や表, その説明文の全角文字はゴシック体, 半角英数文字は Arial や Helvetica.

文字・文章表記の基本事項

- 句読点, 英数文字, 全角と半角は下記に従ってください.
 - 句読点: 句点・読点はいずれも用いず, 日本語論文においては全角のカンマ・ピリオド.
 - 英字: 日本語論文においても半角英数文字.
 - 数字: 数値を表す場合は原則として漢数字でなく算用数字. 日本語論文においても半角英数文字.
 - ローマ数字: II, IV などを用いる場合は, 全角文字の記号ではなく半角英数文字の I や V を並べて記載.
 - ギリシア文字: アルファ(α)やベータ(β)などは, 全角文字の記号ではなく半角英数文字.
- 単位は原則として国際単位系(International System of Units, SI)や CGS 単位系に従って記載してください.
例: 長さは「m」, 質量は「kg」など.
例: 時間の単位「秒」は「sec」ではなく「s」.
- 数値と単位の間には半角スペースを挿入してください(SI 参照). ただし角度やと摂氏温度の記号では不要です.
半角スペースが必要な例: 「10 ms」, 「25%」
半角スペースが不要な例: 「10°」, 「25°C」
- 機器名は「一般名(商品名, 会社名, 会社所在地, 国名)」, または「商品名(会社名, 会社所在地, 国名)」の形式で表記してください.
例: 経頭蓋直流電気刺激装置(DC-Stimulator Plus, NeuroConn, Ilmenau, Germany)
例: MATLAB 2016a(MathWorks, Natick, USA)
- 略語を用いる場合は標準的な略語のみを用い, 初出時にフルスペルや必要に応じて和訳も併記してください.
例: Computed Tomography(CT)
例: 機能的磁気共鳴画像法(functional magnetic resonance imaging, fMRI)
例: functional near-infrared spectroscopy(fNIRS, 機能的近赤外分光法)
- 略語を用いる場合に「(以下, ○○とする)」などの文章表現(「以下, 」や「とする」など)は不要です.

原稿の構成

- 原稿はひとつの Word ファイル内に下記の 6 項目が含まれます。「改ページ」を用いてそれぞれ新しい頁で作成してください(図表はひとつにつき 1 頁)。

- [1] Title Page(タイトル頁)
- [2] Author Page(著者頁)
- [3] Abstract(要旨)
- [4] Main Text(本文)
- [5] Reference(参考文献)
- [6] Figure and Figure Legend(図と図の説明)
- [7] Table(表)

[1] Title Page(タイトル頁)に含まれる情報

- ・ **Title:** 英語の論文表題
- ・ **Type of Manuscript:** 記事種類を前述の 7 種から選択してください(日本語論文では in Japanese を付加)。
- ・ **Key-words:** 英語のみ 3 個以上 5 個以内で、できるだけ Title に含まれないキーワードを記載してください。
- ・ **Number of words in main text** (英語原稿では総単語数) / **Number of characters in main text** (日本語原稿では総文字数): 本文([4] Main Text)に含まれる単語数または文字数を記載してください。
- ・ **Number of figures and tables:** 本論文に挿入される図と表の数をそれぞれ記載してください。
- ・ **Article History:** 投稿日や受理日を記載する欄ですが、ここは編集委員会が記入します。

[2] Author Page(著者頁)に含まれる情報

- ・ **Author(s):** 全著者名を「Masakage YAMAGATA^{1,2} m.yamagata@yahoo.co.jp」のように、英語で(Family Name は全て大文字)記載し、所属機関の番号を 1 から出現順に上付きで付加してください。また全員の名前の後ろに E-mail アドレスを記載してください(アドレスは連絡用であり、論文掲載時には公開されません)。
- ・ **Affiliation(s):** 著者に付加された所属番号ごとに所属の英語名を記載してください。
- ・ **Corresponding Author(s):** 出版時に掲載(公開)される連絡著者の氏名と職種・学位など(例:「Masakage YAMAGATA, RPT, PhD」), E-mail アドレス, 所属機関名, 所属機関住所を英語で記載してください。
- ・ **編集委員会との通信・連絡用 日本語連絡先:** 編集委員会や出版社からの連絡などのため、連絡著者の日本語表記と、所属機関が国内の場合には日本語の所属機関名, 所属機関住所, 電話番号(および内線番号)を記載してください。電話番号は携帯電話でも構いません。本情報は論文掲載時に公開されません。
- ・ **日本語のタイトルと氏名:** 本文が日本語の論文では、日本語のタイトルと日本語の氏名を記載してください。所属番号や所属機関名は不要です。

[3] Abstract(要旨)

- ・ 背景, 目的, 方法, 結果, 結論の順で簡潔に本文の内容を要約してください。
- ・ 要旨中に「背景」「結果」などの見出しは記載せず、また、改行も挿入しないでください。
- ・ 日本語の場合は 600 文字, 英語の場合は 240 words で作成してください。
- ・ 本文が日本語の論文の場合、投稿時は日本語で記述し採用決定後に英語化してください。
- ・ 依頼原稿の場合には日本語の要旨による査読は不要ですので、英語の抄録のみで構いません。

[4] Main Text(本文)

- ・ 原則として 1. Introduction, 2. Materials and Methods, 3. Results, 4. Discussion, 5. Conclusion, 6. Acknowledgments, 7. Ethics Approval, 8. Conflicts of Interest で構成されます(Case Report や Clinical Note は別途フォーマットを参照)。
- ・ **Caption(節・項の見出し)**を階層化する際は、原則として「1.1.」「1.2.」「1.1.1」「1.1.2」...のようにしてください。
- ・ **Caption**は必要に応じて変更することができます。ただし、論文の種類を問わず 1. Introduction, 5. Conclusion, 8. Conflicts of Interest の節に関しては可能な限り変更しないでください。6. Acknowledgments と 7. Ethics Approval の節については、無ければ見出しごと削除してください。
- ・ 科研費をはじめとした公的な研究費については 8. Conflicts of Interest ではなく 6. Acknowledgements に記載してください。
- ・ **ヘルシンキ宣言**(以後の改正や補足を含む)に基づき、対象者の保護には十分に留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を、2. Materials and Methods ではなく 7. Ethics Approval へ記述してください(匿名化の際に削除して査読者へ送られます)。また、倫理審査の機関名および承認番号も記載してください。
- ・ **利益相反(8. Conflicts of Interest)**に関し、企業などから利益を得ていることが論文の採否には影響しません。
- ・ **Caption**は日本語論文であっても英語表記とします。

[5] References (参考文献)

- ・参考文献リストに記載されている文献は、必ず本文中で引用されている必要があります。
- ・本文中で文献を引用する場合は、引用箇所て角括弧内に文献番号を数字で記載し、カンマで区切って表示してください(カンマの後ろの半角スペースは不要)。また、3 つ以上の連番の場合はハイフンで繋いでください。
例: 「Shimoda ら[1]によると...」, 「～という説もある[2,3]. 」, 「～と示されている[2-5,8,9]. 」
- ・EndNote (Clarivate Analytics, <https://endnote.com/>) の JRN 用 Style ファイルを用意しておりますのでご利用ください(脳機能とリハビリテーション研究会ホームページ <http://noukinou.main.jp/journal/> よりダウンロード可能)。
- ・EndNote を使用しない場合は以下のルールを参考にしてください。
 - 記載順序は本文の引用順で表記(必ず本文中で引用されている必要がある)。
 - 著者が7名以上の場合は筆頭から6名を半角カンマで区切り、以降は「, et al.」。
 - 論文や書籍・章タイトルの副題を繋ぐ記号は「:」または「 - 」。
 - 雑誌名は略称とし、Medline (<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>) に準拠。
 - 和文誌名は略さない(例: 理学療法ジャーナルを PT ジャーナルとしない)。
 - 頁が複数場合は「初頁-終頁」とし、重複している位の数字がある場合にはその記載を省略。
例: 172 頁から 178 頁の場合「172-8」
 - 著書の引用では一冊全てを引用することはせず、必ず引用した章などの頁を記載。
 - 採用が決定している未掲載論文(巻・号などが決まっていない状態の論文)の場合は「西暦～引用頁」の代わりに「in press.」と記載。
 - 投稿中の論文や学会抄録は引用不可。
 - 引用論文の言語が日本語・英語以外の言語で記述されている場合はタイトルを [] で囲う。

※ 引用例(雑誌)

著者名. 論文タイトル. 雑誌名. 西暦発行年; 巻数(号数): 引用頁.

1. Shimoda N, Takeda K, Imai I, Kaneko J, Kato H. Cerebral laterality differences in handedness: A mental rotation study with NIRS. *Neurosci Lett*. 2008; 430(1): 43-7.
2. 高杉潤, 沼田憲治, 松澤大輔, 小出歩, 阿部光, 村山尊司, et al. 体性感覚障害に対するミラーセラピーの予備的研究 - 体性感覚脱失が一過性に改善した被殻出血 2 例の検討. *脳科学とリハビリテーション*. 2008; 9: 29-34.
3. Takahashi M, Takeda K, Otaka Y, Osu R, Hanakawa T, Gouko M, et al. Event related desynchronization-modulated functional electrical stimulation system for stroke rehabilitation: A feasibility study. *J Neuroeng Rehabil*. 2012; 9: 56.

※ 引用例(単行本)

著者名. 書籍名. 版数. 発行地: 出版社名; 西暦発行年. p. 引用頁.

4. 山鳥重. *神経心理学入門*. 東京: 医学書院; 1985. p. 133-7.
5. Moore BCJ. *An Introduction to the Psychology of Hearing*. 6th ed. Leiden: BRILL; 1985. p. 133-68.

※ 引用例(編集書籍の一部)

著者名. 章タイトル. 編者名. 書籍名. 版数. 発行地: 出版社名; 西暦発行年, p. 引用頁.

6. Zifkin BG, Cracco RQ. An Orderly Approach to the Abnormal Electroencephalogram. In: Ebersole JS, Pedley TA, editors. *Current Practice of Clinical Electroencephalography*. 3rd ed. Philadelphia: Lippincott Williams & Wilkins; 2003. p. 288-302.
7. 林田征起, 丹羽真一. 選択的注意と注意関連電位. In: 丹羽真一, 鶴紀子, editors. *事象関連電位: 事象関連電位と神経情報科学の発展*. 東京: 新興医学出版社; 1997. p. 34-50.

※ 引用例(ウェブサイト)

URL [cited アクセス日時(西暦 月 日)].

8. http://jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist08_2010/main.htm [cited 2017 June 12].

[6] Figures and Figure Legends (図と図の説明)

- ・論文に掲載される図については、必ず本文の文章中で言及されている必要があります。
例: 「Figure 1 に○○の結果を示す。」
例: 「△△と□□は有意に関連した(Figure 2a). 」
- ・Figure には、グラフや模式図などの他、絵の画像、写真、脳画像(MR 画像や CT 画像)、模式図やフローチャートなども含まれます。

- ・ Word ファイルに画像ファイルを貼りつけ、印刷時に 2 段組みの 1 段分(図中の余白も含めた横幅 約 7.5 cm)で掲載したいか、2 段分(約 15 cm)で掲載したいかを想定し、いずれかのサイズで表示してください。
- ・ 図中の文字は、印刷時のサイズを想定し小さくなりすぎないように注意してください。
- ・ 複数のグラフや写真をひとつの図中に表示する場合、原則として各グラフや写真の左肩に小文字で a, b などと表示してください。
- ・ 図の下に、左詰めで図のタイトルを「**Figure 1: ○○の結果**」のように記述し「**Figure 1:**」を太字としてください。
- ・ 図のタイトルの下段に、左詰めで図の説明文を記述してください。複数のグラフや図が表示されている場合は、説明文中で「(a) 横断面の MR 画像, (b) 矢状面の MR 画像.」のようにそれぞれに説明を加えてください。
- ・ 図中で画像化される全角文字および図の説明文では、全角日本語はゴシック体、半角英数文字は Arial や Helvetica で記述してください。
- ・ 図中に略語が出てくる場合は、必ず図の説明文でフルスペルを記載してください(本文中に書いてあっても)。
- ・ 特段の必要が無ければ、写真を含めて色をつけず、グレースケールで表示してください。
- ・ 図は 1 個であっても番号を振ってください。
- ・ 図が 2 個以上ある場合は、1 頁に 1 Figure として原稿を作成してください。

[7] Tables(表)

- ・ 論文に掲載される表については、必ず本文の文章中で言及されている必要があります。
例: 「Table 1 に入院時の患者の年齢, 発症後日数, SIAS スコアを示す.」
例: 「△△の症状は経過により改善がみられた (Table 2, Figure 3b).」
- ・ 画像ではなく文字を編集可能な表としてください。Microsoft Excel などで作成後に貼り付けても良いです。
- ・ 表上部に左詰めで「**Table 1: 入院時の患者情報**」のようにタイトルを記述し「**Table 1:**」を太字としてください。
- ・ 表には原則として説明文を記載しませんが、表中の略語のフルスペルや「*: $p < 0.05$ 」などの説明は(本文中に書いてあったとしても)表の下部に記載してください。
- ・ 原則として表中の全角日本語はゴシック体、半角英数文字は Arial や Helvetica で記述してください。
- ・ 罫線(特に縦線)は可能な限り省略してください。
- ・ 罫線の太さは一定とし、太さの違う罫線を混在させないでください。
- ・ 記載される数値が小数点以下の桁を含む場合、小数点の表示位置や桁数、有効数字などを揃えてください。
- ・ 表は 1 個であっても番号を振ってください。
- ・ 表が 2 個以上ある場合は、1 頁に 1 Table として作成してください。

言語

- 論文の言語は英語を推奨しますが日本語論文も受け付けます。
- 日本語論文においても、Title(論文表題), Authors' Names(著者名), Authors' Affiliations(著者の所属名), Abstract(要旨), Key-words(キーワード), Caption(節・項の見出し)については英語表記とします。
- 本文が日本語の論文でも要旨は英語です。ただし、投稿時には日本語で記述して査読を受けてください。採用決定後に英語化していただき、編集委員会にて確認致します。
- 要旨の英語化については、必要に応じてサポートしますので編集委員会にご相談ください。
- 本文が英語の論文の場合でも、査読者の希望により日本語で査読を行うことがあります。
- 本文が英語の論文で日本語での査読を希望する場合は、投稿時にお知らせください。
- Title, Subtitle や Caption で大文字にするのは固有名詞や略語を除き先頭の文字のみとしてください。
- 著者に native English speaker が含まれない場合、掲載のために英文校正の証明書が必要です。

投稿の手順(Web 投稿システムが完備され次第、本手順は Web 投稿システムに従う方法へ移行されます。)

- **(1) Cover Letter**(添え状), **(2) Manuscript**(図表込み原稿)を「Journal of Rehabilitation Neurosciences 編集委員会」宛て(宛先: editor@noukinou.main.jp)にメール添付でお送りください。
- 再投稿時には**(3) 返信状**(査読者からの質問・指摘に対する返信がある場合)も合わせて添付してください。
- 英語論文, 日本語論文の英語要旨(採用決定後)に関し, **(4) 英文校正の証明書**もお送りください。
- 編集委員会とのメールのやり取りは、原則として責任著者が行います。ただし、メール送信による**投稿・再投稿の際には、必ず全ての共著者の承認を得たうえで、著者全員を cc に入れて送信**してください。
- 初回投稿時に、編集委員会から送られる返信メールの題名に原稿番号(JRN-6 桁の数字)が付与されるので、以降の編集委員会とのやり取りでは、その原稿番号をメールの題名に記載してください。
- 匿名化や PDF 化は編集委員会にて行いますので別途作成する必要はありません。
- 投稿原稿一式のコピーは必ず手元に保存しておいてください。

査読の流れ

- 依頼原稿を含み、全ての原稿は、編集委員会が依頼した研究者(査読者)により査読されます。
- 査読者の選定および依頼は編集委員会が行います。
- 査読意見が分かれた場合などでは、3名以上の研究者による査読が行われることもあります。
- 原則として依頼原稿以外の論文は査読の前に匿名化されます。また、著者が査読者を知ることもできません。
- 掲載可否は査読者の査読意見を基に編集委員会が決定します。
- 原稿に修正が必要な場合は、編集委員会より連絡著者に査読者の修正意見をお送りしますので、修正稿に査読に対する返信状を添えてお送りください。
- 返信状の様式は問いませんが、査読者の意見を省略せず全て転記したうえで、著者の返信を記述してください。
- 返信期日を設けることがありますが、発刊時期との兼ね合いで伸ばすことが可能な場合がありますので、期日についてはお気軽に編集委員会へご相談ください。
- 修正原稿では、修正部分の字の色を青字や赤字とするなど、査読者や編集委員が修正箇所気づきやすいよう工夫してください。ただし、修正履歴を残す方法はとらないでください。
- 編集委員会により査読者の意見とは別の修正案が提示されることもあります。
- 掲載巻号は原則として採用決定後に発刊される巻号となりますが、最終決定は編集委員会によりなされます。

査読終了後から著者校正までの流れ

- 査読が終了し、査読者により掲載可とされた論文について、日本語論文の場合にはまず抄録を英語化していただきます。その後、編集委員会にて確認した後、採用が決定されます。
- 査読終了後に論文内容が変容するような文章の修正や図表の変更は認められません。
- 採用が決定した論文について、編集委員会が体裁の再確認および修正を行い、著者の承認を経てプレプリント版(雑誌の発刊前に巻・号未定、段組み前の状態)が作成されます。
- プレプリント版は雑誌の発刊まで、J-StageのJRN雑誌WebサイトにおいてPDF形式で公開されます。
- プレプリント版を基に出版社が段組みを行い、校正用原稿が著者へ送られます。
- 著者校正は原則として1回のみで、編集委員会の責任において字句をさらに訂正することもあります。
- 校正時に著者を増減させることは原則としてできませんが、必要がありましたら編集委員会にご相談ください。
- 著者校正後、雑誌発刊と同時期にWebサイトにおいても最終版が公開されます。
- 最終版掲載後の修正は、著者の所属情報を含め一切認められません。

投稿および執筆の参考資料(脳機能とリハビリテーション研究会ホームページよりダウンロード可能)

- 石井大典. 論文の書き方と投稿方法. 脳科学とリハビリテーション. 2015; 15: 1-4.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jrn/15/0/15_150423/_article/-char/ja
- 武田湖太郎, 石井大典. 論文を書くときの留意点. 脳科学とリハビリテーション. 2017; 17: 1-8.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jrn/17/0/17_170619/_article/-char/ja

脳機能とリハビリテーション研究会 学術雑誌 J Rehabil Neurosci (JRN) ホームページ

<http://noukinou.main.jp/journal/>

原稿送付, 問合せ先

Journal of Rehabilitation Neurosciences 編集委員会, E-mail: editor@noukinou.main.jp